



教育の未来を考える会だより

洛水中学校区における小中一貫教育校の創設に向けて —通学及び給食の検討—

3校のPTA代表者会

本年度、3校PTAによる「PTA代表者会」では、令和13年4月の洛水中学校区の小中一貫教育校の開校に向け、通学及び給食について検討しています。

通学の検討は、両学区における「市バス通学対象エリア」を決めるところから始めています。

給食においては、これまでの施設一体型の小中一貫教育校と同様に1～9年生全員が自校調理方式による給食に決定したいと考えています。

横大路小学校PTA学習会

PTA代表者会及び横大路小PTA特別委員会の検討を経て、令和7年11月に横大路小PTA学習会を開催しました。

参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

学習会では、以下のとおり横大路小学校区の通学及び給食についてPTA案を提示し、意見交換を行いました。



<PTA案>

○児童の通学（横大路小学校区）

原則は歩く通学。ただし、国道1号線（京阪国道）より東側を市バス通学対象エリアとします（市バス定期代は全額公費負担）。

横大路地域の児童は、横大路学区内に設置される新校へ通学するので、原則徒歩通学ですが、統合により距離がある中、交通安全上の課題があるため、国道1号線より東側を市バス通学の対象として考えています。

○給食（新校の7～9年生[中学1～3年生]）

開校時、小学校では自校調理方式、中学校では給食センター方式による給食（令和10年2学期開始）が実施されていますが、小中一貫教育校は前期課程（1～6年）のための給食室を整備するため、これまでの施設一体型の小中一貫教育校と同様に後期課程（7～9年）も自校調理方式による給食とします。

横大路小学校PTA特別委員会

令和7年11月の横大路小PTA特別委員会において、通学及び給食について、PTA学習会の振り返りを行いました。



PTA学習会、PTA特別委員会での主だったご意見・感想など

[市バス通学]

- 登校及び下校時の市バスの具体的な時刻はどのようになりますか。
⇒ 今後、学校の教育活動を踏まえ、市バスの時刻が検討されます。
- 市バス乗車時の安全面について心配です。
⇒ 市バス停留所の環境整備や市バス乗降時の安全面なども検討していきます。
- 市バス通学の子どもについて、交通渋滞により登校時に遅刻しないか心配です。
- 市バス通学の経費は公費負担になるのですか。
⇒ これまでの統合において、学校統合により通学で公共交通機関を使用するケースはその費用を公費負担されています。



[給食（新校の7～9年生）]

- 自校調理方式の場合、中学生の給食の量はどうなりますか。
⇒ 中学生は必要な栄養量が増えるため、分量を約1.4倍にして提供します。なお、献立は、市の栄養教諭が必要な栄養価を計算して作成します。
- 現時点では給食センター方式はまだ始まっておらず、自校調理方式の方がイメージできるので安心であると感じました。
- 施設一体型の小中一貫教育校なので、同じ給食を食べることがよいと思いました。

今後について

ご意見等を踏まえ、PTA代表者会（令和8年2月開催予定）が通学及び給食のPTA案をまとめます。通学においては、さらに小中一貫教育校創設協議会でも検討いただき、地域案として決定します。

みなさまのご理解・ご協力をお願いします。

ご意見やご質問などがありましたら、学校までお寄せください。

横大路小学校 TEL : 601-0356 FAX : 601-0384 e-mail : yokooji-s@edu.city.kyoto.jp